

「将来透析が必要です。」と言われた方へ お伝えしたい当院での新しい取り組み

～患者さんと医療スタッフが一緒に行う治療選択～

腎臓内科 中田 健

大分大学医学部附属病院に通院されている患者さん、ご家族のみなさま「かけはし」をご覧くださいありがとうございます。腎臓内科の中田健と申します。

皆様は、いままでに、担当医から「この薬を飲んだ方がいいですよ」とか「手術（検査）を受けた方がいいですよ」と言われ、内心不安に思ったり、疑問に思ったことを聞きたくても聞けないまま治療を受けたり、あるいは、難しいので理解するのを諦めて「先生にお任せします」と言ったりした経験はないでしょうか。

もちろん、信頼している医師がすすめる治療方法の選択には、専門医の知識と経験から判断をしておりますが、いくつかの選択肢がある場合もあり、それを患者さんと共有させていただくことで、患者さん自身の希望を取り入れた治療を選択することができます。

じんだいたいりょうほう

腎代替療法は腎不全が進行して腎臓の代わりをする治療です。腎不全の末期の方がその後もずっと長期にわたり続ける必要がある治療です。どの治療を選ぶかにより、日々の生活や仕事に直接影響するので、患者さんの希望を取り入れた治療を選択することが大切です。そこで当院では、今回、新たに腎不全の患者さんが腎代替療法を適切にご自身で選べるように支援する外来を開設しましたのでご紹介します。



医療スタッフチーム



【対象となる方】 当院腎臓内科に通院中の患者さん、または、ご紹介いただいた患者さんで、近い将来透析が必要になると思われる方。

【外来の内容】 いつもの外来受診とは、別枠で合計2回にわたって受けて頂きます。

- ①準備：予約とご自身の価値観や生活状況、腎臓病に関して知りたいことを記載する「療法選択ノート」をお渡しして書いて頂きます。
- ②1回目：腎臓病の治療方法に関するビデオ視聴と医療費助成制度などの申請ノートに書いてあることのチェックと不足分の記入。
- ③2回目：専門看護師および担当医師との3者での面談。患者さんご家族、医師からの双方向の質問。希望があれば実際の治療状況の見学など。

【外来の特徴】

- ①1回の説明に30分以上の時間をかけてじっくり行います。
- ②腎臓内科医師だけでなく、専門の資格のある看護師、医療ソーシャルワーカーなどの様々なスタッフが説明を行います。
- ③「療法選択ノート」という冊子に、患者さんの生活状況や価値観、腎代替療法につきどの程度理解できているかを患者さん自身が書き込み、それを基にして理解度や希望を共有しながら、進めていきます。

【費用】 医療費に「腎代替療法指導管理加算」が追加されます。

※自己負担割合によって変わりますが、おおよそ500円～1500円程度の自己負担額です。

この説明を通して、これまで以上に患者さん自身がご自身に一番合っていると思う治療方法を「患者さん自身」で適切に選べるように支援していきたいと考えています。